



視察報告書

令和7年4月3日

会派代表者様

光宗等
呉市議会議員

次のとおり視察したので報告します。

1. 視察期日

令和7年3月27日（木）、28日（金）、29日（土）

2. 視察項目

呉市議会と友好姉妹議会である昌原特例市議会へ親善訪問

3. 参加議員

中田 光政、林田 浩秋、渡辺 一照、佐伯 航一郎、片岡 延行、
阪井 昌行、光宗 等

4. 視察項目の報告

つぎのとおり報告する。

1. 観察項目

呉市議会と友好姉妹議会である昌原特例市議会へ親善訪問

2. 対応者

大韓民国昌原特例市議会 ソン・テファ議長

3. 観察スケジュール・内容

別紙のとおり

4. 報告概要

○1日目

ソン・テファ議長を含む昌原特例市議会一行は、昨年、呉市にお越しいただき、今回は私たちが昌原特例市議会より招待を受け訪問した。

昌原特例市議会に到着後、ソン・テファ議長と呉市に訪問した時のことや昌原特例市の情勢等について意見交換を行った。昌原市は1970年代、韓国の重化学工業化の推進の下、最初の計画都市として計画が進み、世界的企業が集積する工業都市として知られている。夕方から正法寺にて晩餐会が催され、昌原特例市の紹介や呉市議會議長・昌原特例市議會議長による挨拶が行われた後、お寺で振舞われる伝統の料理をいただいた。

○2日目

3万坪もある大規模な敷地の中にある昌原国際射撃場を視察した。クレー射撃・火薬銃射撃場・空気銃射撃場・ピストル・スクリーン射撃等、国際規模の主要施設を備えている。これまで多くの射撃選手も生み出しており、午前中にもかかわらず練習に励む方が複数おられたのが印象的だった。

その後、昌原特例市から釜山港へ移動し港湾機能を見学した。釜山港は東アジア最大級のハブ港湾へ発達し、日本や中国への地方向けの路線に積み替える拠点にもなっており、コンテナの数やクレーンの稼働状況に圧倒された。

夕方から昌原特例市鎮海区で開催される軍港祭に出席した。軍港祭のオープニングのアナウンスで呉市議会来場の紹介が行われた。軍港祭は華やかで大規模なイベントであることと一般市民も楽しんでおられるのが印象に残った。

○3日目

昌原特例市議会ソン・テファ議長にお見送り頂き、宿泊していたホテルを後にした。その後、釜山の市場などを見学し全行程を終了した。

○親善訪問を終えて

釜山港を訪れた時、呉で見慣れたピンクのコンテナが多く積まれているのが目についた。呉のJMUで昨年に建造されたコンテナ船の船主と同じピンク色のコンテナであり、グローバリゼーションを改めて実感することになった。また、ロシアのウクライナ侵攻等、更なる世界情勢の不安定化も危惧されている状況の中で、市町村レベルにおいても親交を深めることが重要であると思う。また、釜山港の開発が象徴されるように、開発を壮大なスケールと集中で行う大韓民国の国家プロジェクトの強みを感じるとともに日本経済にとって脅威であることを強く感じた。今後も姉妹都市として関係を良好に保っていき、共に平和を守りながら発展できる都市となることを思う。